

科目名	地域文化論	英文表記	Regional Culturology	2012/3/21					
科目コード	4019								
教員名:下郡剛 技術職員名:				作成					
対象学科/専攻コース	学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間			
全学科	4年	必	履修	1単位	講義	前期			
科目目標	沖縄地域社会の理解を目的とし、沖縄の文化・歴史・地理風土などについての認識を深める。								
総合評価	(100%)PBL研究発表で評価する(但し評価の対称は、取り組み・討論の内容等を含む)。								
達成度目標と評価方法	科目達成度目標(対応するJABEE教育目標)			達成度目標の評価方法					
	①	自ら決めたテーマについて、根拠を提示しながらプレゼンを行う。(機B-4, 情B-3, メディアB-2, 生物B-3)		⇒	PBLによる評価				
	②			⇒					
	③			⇒					
				⇒					
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称	機械システム工学	情報通信システム工学	メディア情報工学	生物資源工学
	○	○	○	◎	JABEEプログラム教育目標	B-4	B-3	B-2	B-3
授業概要、方針、履修上の注意	資・史料を提示し、歴史学的方法論を併せて説明することで、科学的・論理的に考える能力を高める。班単位で学生自ら課題を設定し、調査・発表・全体討論を行う。								
教科書・教材	教員が編集したプリント、プレゼン資料								
授 業 計 画									
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容				自学自習 (予習・復習)内容		
1	1年間のガイダンス・PBL班編制	2	授業の方針・進め方等についての説明。PBL班編制と注意事項等の説明(PBL1)。						
2	第1回PBL班会議	2	第1回目のPBL班会議を行い、沖縄の産業・文化・歴史を対称に、班ごとにテーマを設定する(PBL1)						
3	沖縄戦一教科書問題とメディア論 付・岩波・大江裁判の法理と報道	2	現在における沖縄戦認識の一つとして、教科書問題を取り上げ、同問題における大手新聞社の論説を比較検討する。						

4	沖縄戦一軍事史としての視点から1—	2	太平洋戦争全体の中における沖縄戦の意義、及び、東京側の視点から日本軍の沖縄防衛計画とその変更について理解する。	
5	沖縄戦一軍事史としての視点から2—	2	沖縄側の視点から日本軍の沖縄防衛計画とその変遷について理解する。	
6	第2回PBL班会議	2	翌週のPBL中間報告の準備。	
7	PBL中間報告	2	班単位で設定した課題について、これまで調査した内容について、全体構成についての中間報告(PBL1)	
8	第3回PBL班会議	2	前回の中間報告を踏まえ、今後の課題と対応方法をテーマに、班ごとで会議する(PBL1)	
9	沖縄戦一住民被害の実態1—	2	住民被害は何故生じたのか、その背景について、東京側の視点から住民避難計画の変遷とその実態について知識する。	
10	沖縄戦一住民被害の実態2—	2	住民被害は何故生じたのか、その背景について、沖縄側の視点から住民避難計画の変遷とその実態について知識する。	
11	第4回PBL班会議	2	次回からの発表にそなえ、最後の会議を持つ(PBL1)	
12	1・2班PBL研究発表	2	1・2班で調査した課題の最終発表と討論。(PBL1)	
13	3・4班PBL研究発表	2	3・4班で調査した課題の最終発表と討論。(PBL1)	
14	5・6班PBL研究発表	2	5・6班で調査した課題の最終発表と討論。(PBL1)	
15	戦跡の現在	2	戦争体験者の報告と、当地の現在の様子をスライド使用して見てゆく。	
期末	期末試験			
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
期末	期末試験			
学習時間合計		30	実時間	22.5
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間(試行)
①				
②				
③				
備考欄				

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)